

平成30年度 第7回全体庁議（8月10日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(4) 「帯広市バイオマス活用推進計画」及び「十勝バイオマス産業都市構想」の中間評価の実施について[産業連携室]
----	-------	--------------	--

■ 提案・報告の趣旨

「帯広市バイオマス活用推進計画」及び「十勝バイオマス産業都市構想」の中間評価について、進捗状況の集計がまとまったことから、8月30日に開催される産業経済委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 帯広市バイオマス活用推進計画について 平成25年度～平成34年度(2022年度)

バイオマスの利用状況については、平成29年度末時点での合計は、廃棄系バイオマスの家畜ふん尿の増加により、賦存量、利用量ともに大きく増加し、利用率は93.8%となり、計画策定時の平成34年度(2022年度)末時点での目標92.6%を上回る結果となった。

一方、未利用系バイオマスについては、バイオエタノール製造への原料供給が困難になったことから、利用率最終目標89.9%に対し、88.4%に留まる結果となった。

また、計画に定めた8つの取組の進捗状況等についても報告を行った。

2 十勝バイオマス産業都市構想について 平成25年度～平成34年度(2022年度)

家畜排せつ物の賦存量、利用量がともに大きく増加したが、バイオマス全体の91.1%が利用されており、2022年度末の目標である94.5%に対し、順調に推移した。発電におけるエネルギー自給率については、太陽光発電は、すでに目標を達成し、水力発電、バイオマス発電の利用量も順調に増加し、2017年度末のエネルギー自給率は77.3%となった。また、CO2排出削減量については、2017年度末集計で31,821千トンとなり、最終目標を上回る状況となった。

また、構想で示している5つのプロジェクトの進捗状況についても報告を行った。

3 今後のスケジュールについて

計画、構想ともに中間評価報告書をもとに課題を整理し、目標や取り組み内容の見直しを行い、計画については、帯広市バイオマス活用推進会議、構想については、十勝定住自立圏 産業振興・地産地消部会での議論を踏まえ、変更原案を作成する。

その後、帯広市の計画についてはパブリックコメントの実施、十勝の構想については、変更案を国に提出し、確認、審査、評価が行われることとなっている。

■ 今後のスケジュール

- ・平成30年 8月 産業経済委員会にて中間評価報告
- ・平成30年11月 産業経済委員会にて変更原案報告
- ・平成30年12月 十勝バイオマス産業都市構想変更案を国へ提出
- ・平成31年 1月 帯広市バイオマス活用推進計画変更案のパブリックコメント
- ・平成31年 2月 産業経済委員会にて策定報告

■ 審議結果

- ・同内容で、8月30日産業経済委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

- ・特になし